

令和6年度 地理歴史科 「日本史探究」 シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科 2年C～G組 選択者
教科書	詳説日本史(山川出版社)	副教材等	最新 日本史図表(第一学習社)

1 学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を以下の(1)～(3)に基づいて育成する。

(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	第Ⅰ部 原始・古代	第1章 日本文化のあけぼの	1 文化の始まり 2 農耕社会の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・グループワーク ・提出課題 ・授業への参加
	5		第2章 古墳とヤマト政権	1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷	
	6		第3章 律令国家の形成	1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化 4 律令国家の変容	
			第1回考査		
	7		第4章 貴族政治の展開	1 摂関政治 2 国風文化 3 地方政治の展開と武士	
	8				
	9		第2回考査		
		第Ⅱ部 中世	第5章 院政と武士の躍進	1 院政の始まり 2 院政と平氏政権	

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	10		第6章 武家政権の成立	1 鎌倉幕府の成立 2 武士の社会	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・グループワーク ・提出課題 ・授業への参加
	11			3 モンゴル襲来と幕府の衰退 4 鎌倉文化	
	12		第7章 武家社会の成長 第3回考査	1 室町幕府の成立	
	1	第Ⅲ部 近世	第8章 近世の幕開け	2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化 4 戦国大名の登場	
	2			1 織豊政権	
	3			2 桃山文化 第4回考査	

3 評価の観点

知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

4 評価の方法

おもに定期考査によって、知識・技能および思考・判断・表現について評価します。主体的に学習に取り組む態度については提出物や課題の取り組み状況によって評価します。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

日本の歴史を中心に扱う科目ではありますが、同時代における世界史の動向や、地理的な見方・考え方も学びを深めるうえで重要になります。「地理総合」や「歴史総合」で学んだ考え方を活用しながら学習を進めていきましょう。また、近年の大学入試では史料の読解問題が多く出題されています。早いうちから史料に触れ、慣れておくようにしましょう。